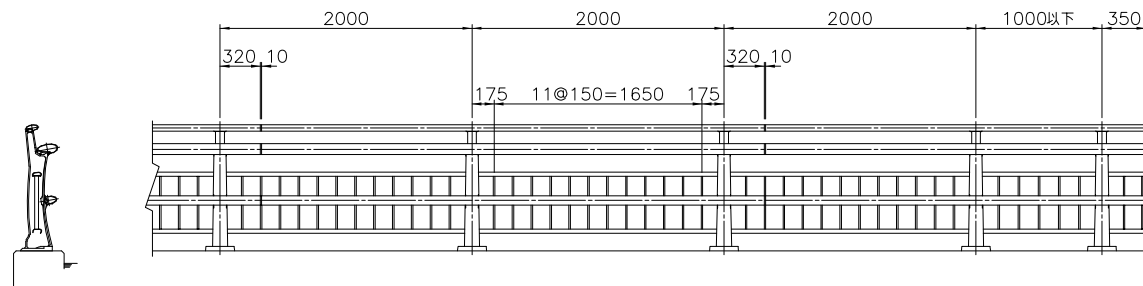
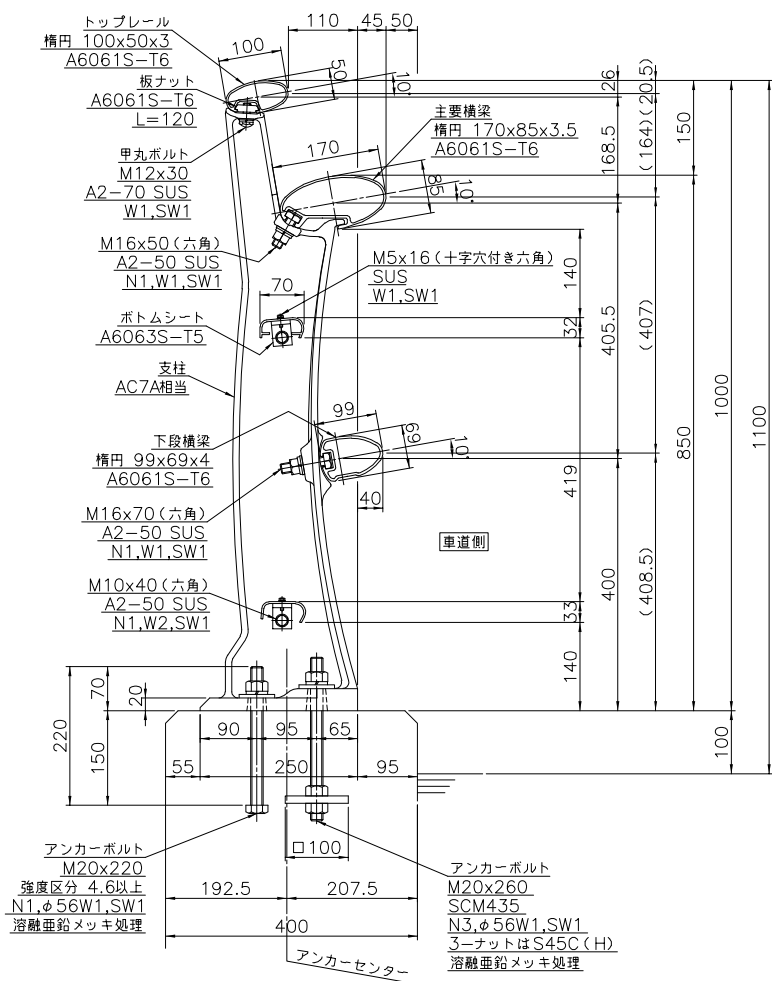


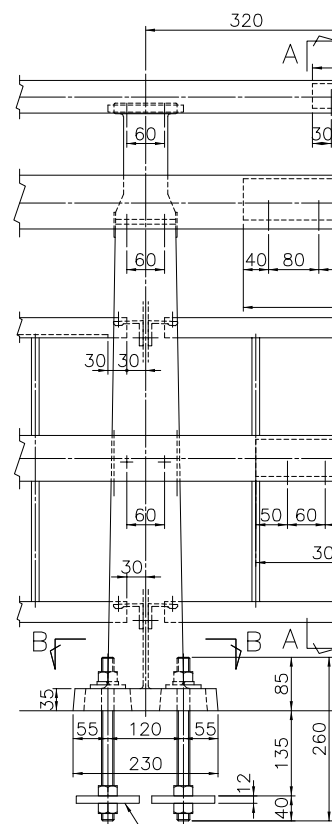
姿 図 S=1/30



高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6
種別 C種



継手部

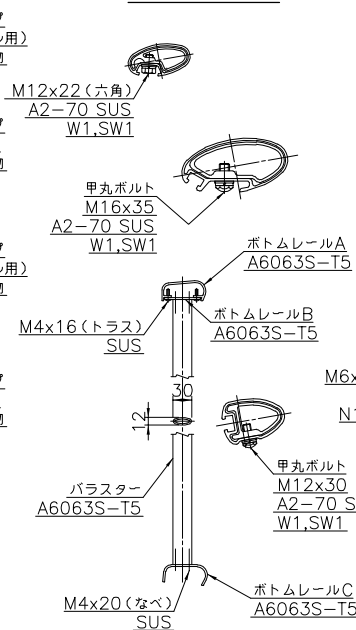


端 部

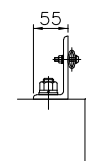
- ※注記
- 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
 - 本防護柵の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
 - 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
5%用は2.5%～7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

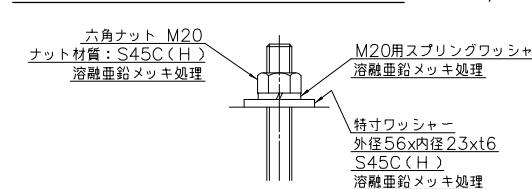
断面A-A



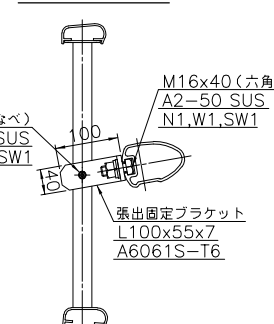
断面D-D



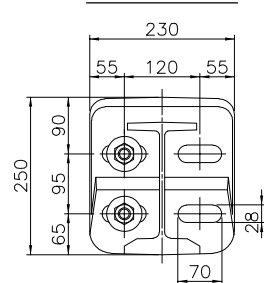
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面C-C



断面B-B

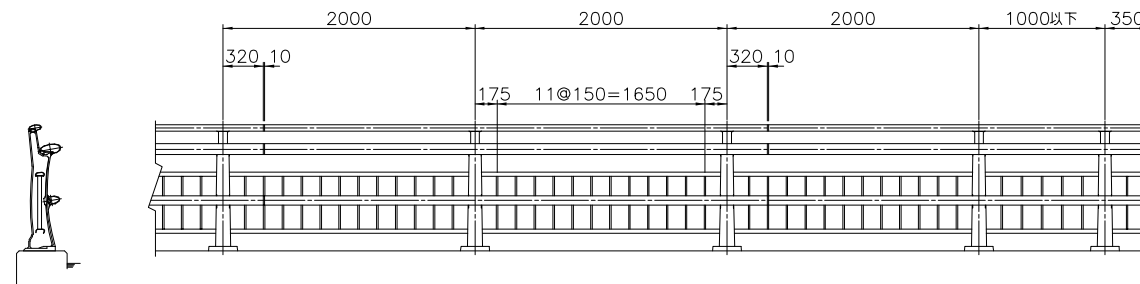


日軽エンジニアリング（株）

NC-32EB-10N

高欄兼用車両防護柵 C種
3本ビーム+格子付き H=1000mm
ナット締め付けアンカー式

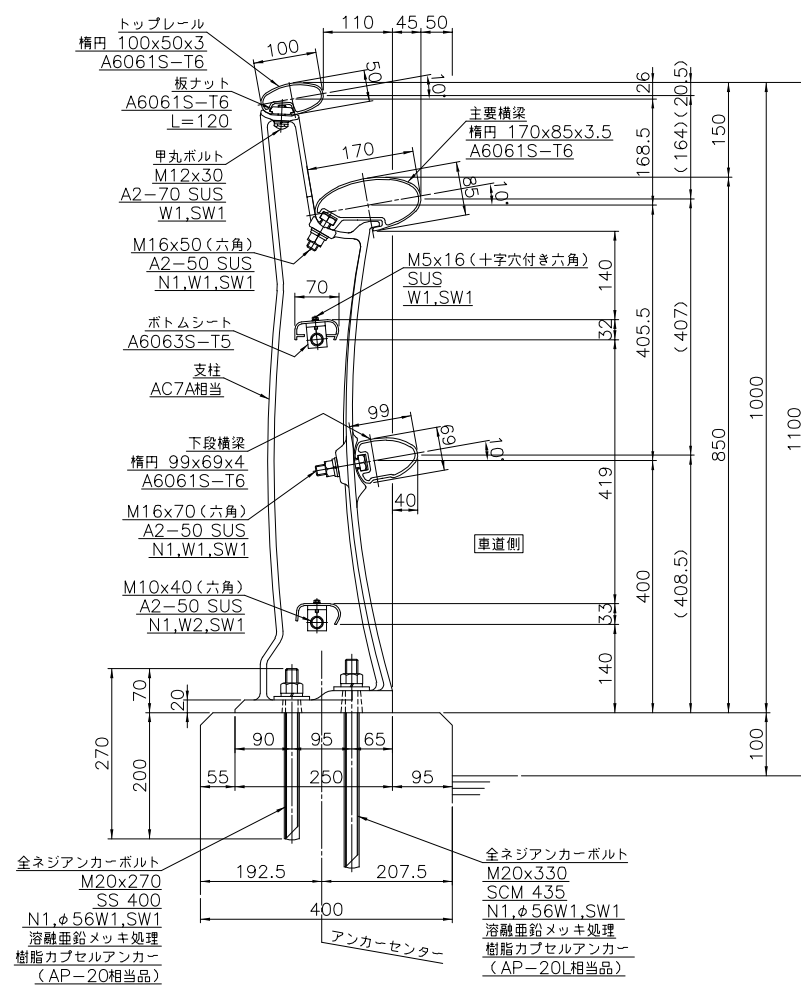
姿 図 S=1/30



高欄兼用

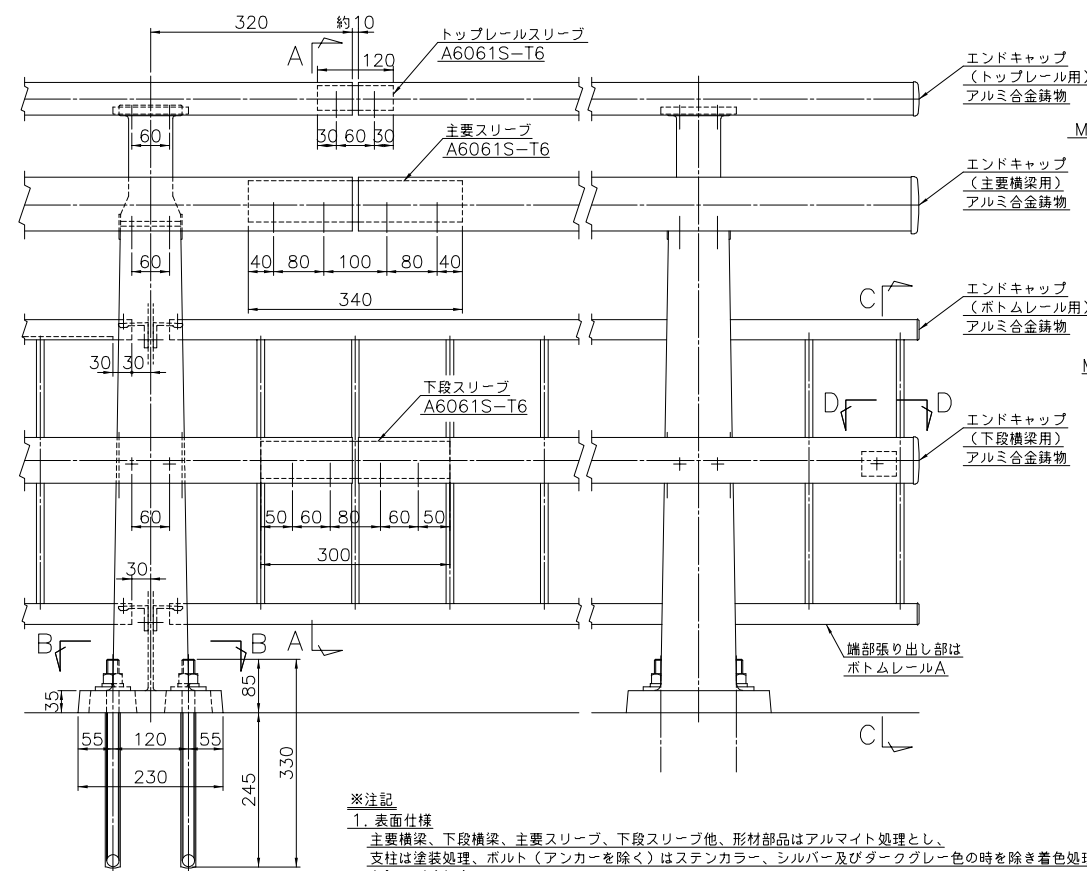
車両防護柵取付詳細図 S=1/6

種別 C種



繼手部

端 部

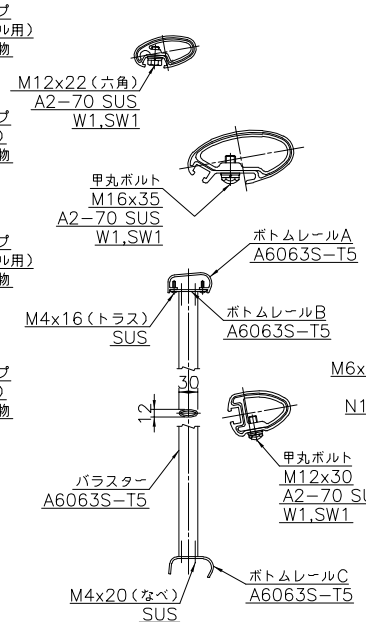


※注記

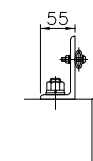
1. 表面仕様
主要橋梁、下段橋梁、主要スリープ、下段スリープ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
2. 本防護欄の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄設計要領」（平成30年6月）、
「アルミニウム合金製橋梁用防護欄製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護欄の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
5%用は2.5～7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

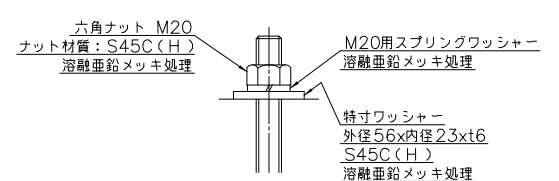
断面 A—A



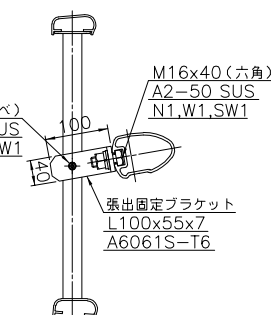
断面 D—D



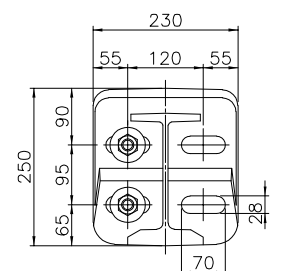
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面 C—C



断面 B—B



日軽エンジニアリング（株）

NC-32EB-10CH

高欄兼用車両防護柵 C種
3本ビーム＋格子付き H=1000mm
樹脂カプセルアンカー式